

君津富津広域下水道組合の財政状況をお知らせします

*今回は、平成24年度の決算の概要、組合の財産、組合債の残高と平成25年9月末現在の予算の執行状況などの財政状況をお知らせいたします。

平成24年度決算概要

平成二十四年度君津富津広域下水道組合会計の決算は、歳入が38億4723万2千円、歳出は32億3489万5千円で、差引額は6億1233万7千円となり、これから翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は5億9322万8千円となりました。

歳入の主な割合は、構成市からの負担金が主である分担金及び負担金が全体の28・0%で、使用料及び手数料が18・9%、組合債が19・6%となっています。

歳出の主な割合は、下水道の建設及び維持管理に要する費用を賄う土木費が66・9%、建設事業のため借り入れた組合債の償還費用である公債費が29・7%となっています。

主な建設事業としては、君津地区で君津汚水2号幹線築造事業、人見第1・第2ポンプ場改築更新事業、台1・2丁目合流管築造事業、中野1丁目（東前）汚水枝線築造事業、八重原雨水・汚水枝線築造事業などを、富津地区では神明雨水枝線築造事業及び富津汚水2号幹線築造事業などを実施しました。また、両市の共同処理施設である君津富津終末処理場の再構築事業を実施しました。

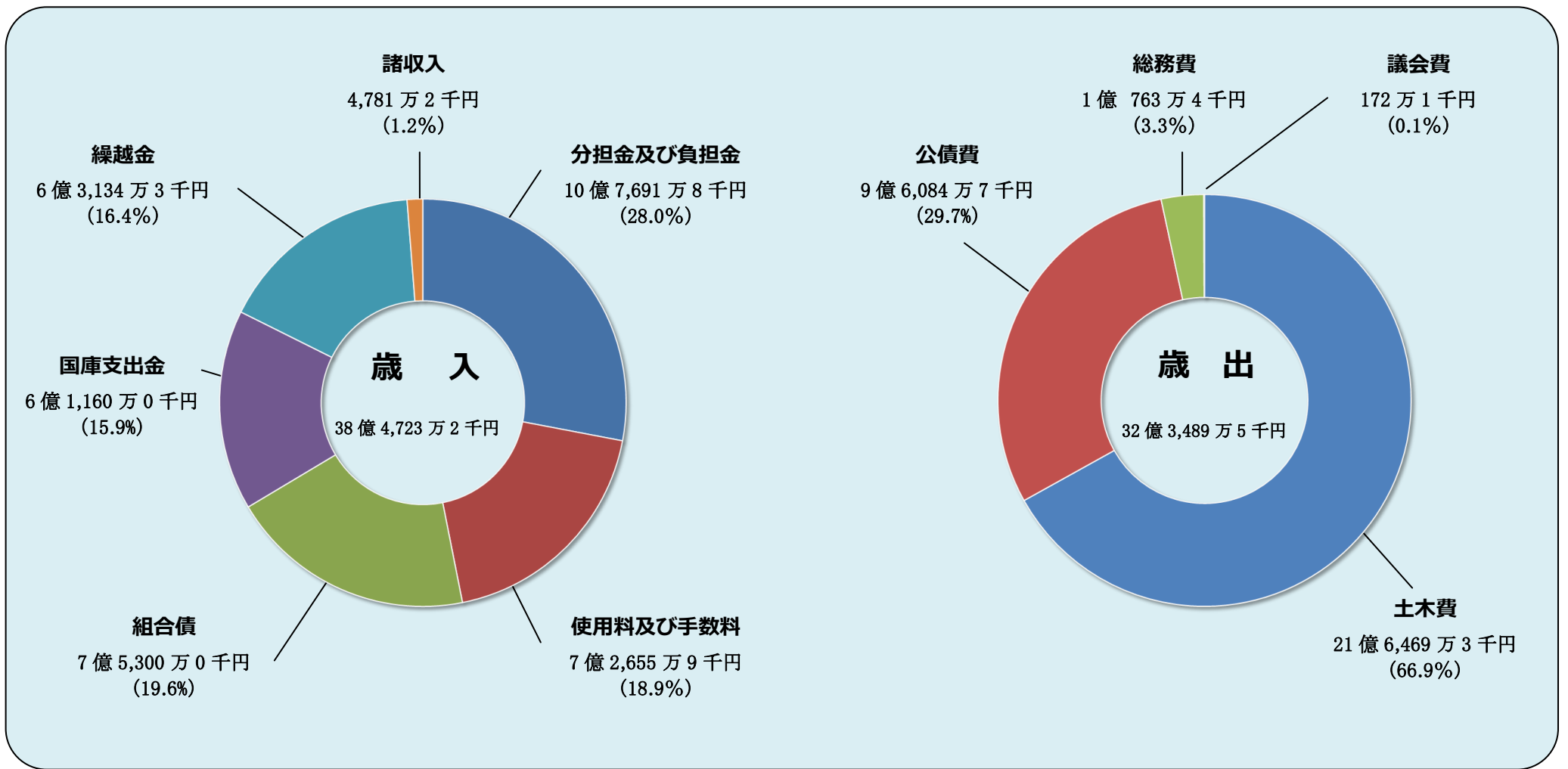
これらを実施することで、都市基盤の根幹の一つである下水道を計画的に整備し、環境衛生の向上及び雨水による浸水対策等の推進に努めました。



君津市
マスコットキャラクター
きみびよん



富津市
おもてなしキャラクター
ふつつん



分担金及び負担金・・・構成市からの負担金や受益者負担金など
 使用料及び手数料・・・下水道使用料や工事完了検査手数料など
 組合債・・・管渠や終末処理場などを建設する際に、経費の一部を国や金融機関などから調達する長期的な借入金
 国庫支出金・・・管渠や終末処理場などを建設する際に、経費の一部を国から交付されるもの
 繰越金・・・前年度決算で生じた剰余金で翌年度に繰り越すもの
 諸収入・・・預金利子や雑入など

土木費・・・公共下水道及び都市下水路並びに終末処理場の維持管理費や建設費
 公債費・・・組合の借入金(組合債)の返済にあてるもの
 総務費・・・組合全般に係る管理・運営などの事務費
 議会費・・・組合議会議員の報酬や活動費

組合の財産状況

土地 87,052.05 m² 建物 10,718.49 m²

経営の健全化指標

資金不足比率…… — %(資金不足はない)

*資金不足比率とは、資金不足が事業の規模に対して、どの程度かを示す指標で、20%以上になると経営の健全化を図るため経営健全化計画の作成義務が課されます。(平成24年度も資金不足額は算定されないため数値なし。)

将来にわたる財政負担の状況

組合債……9,012,994千円

*組合が建設事業等を実施するために借り入れた借金の、平成24年度末の残高

予算執行状況

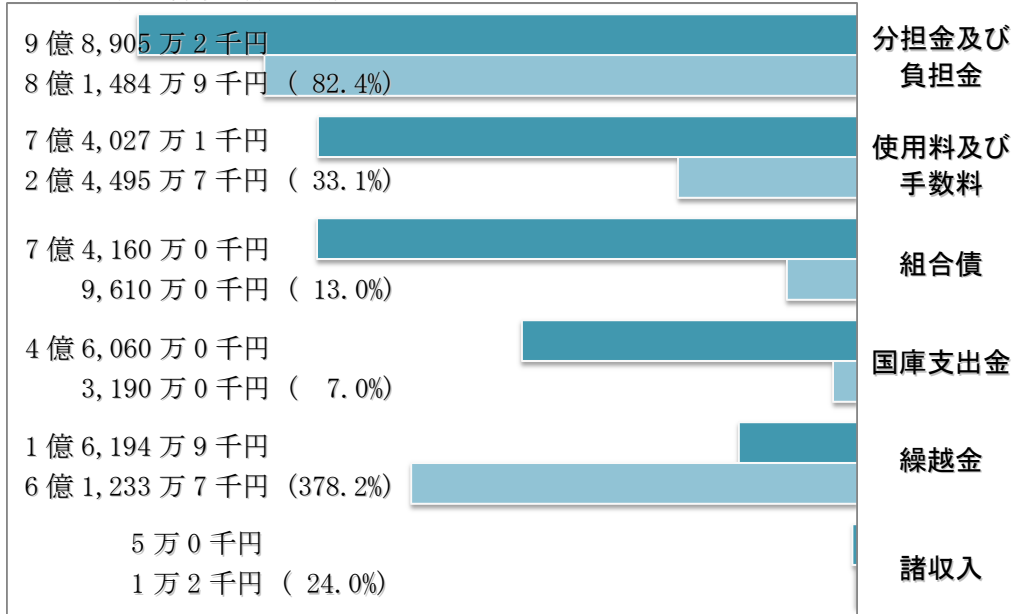
平成 25 年 9 月末現在

予算現額 30 億 9,352 万 3 千円

収入済額 18 億 15 万 5 千円
収入率 58.2%

支出済額 10 億 6,597 万 9 千円
執行率 34.5%

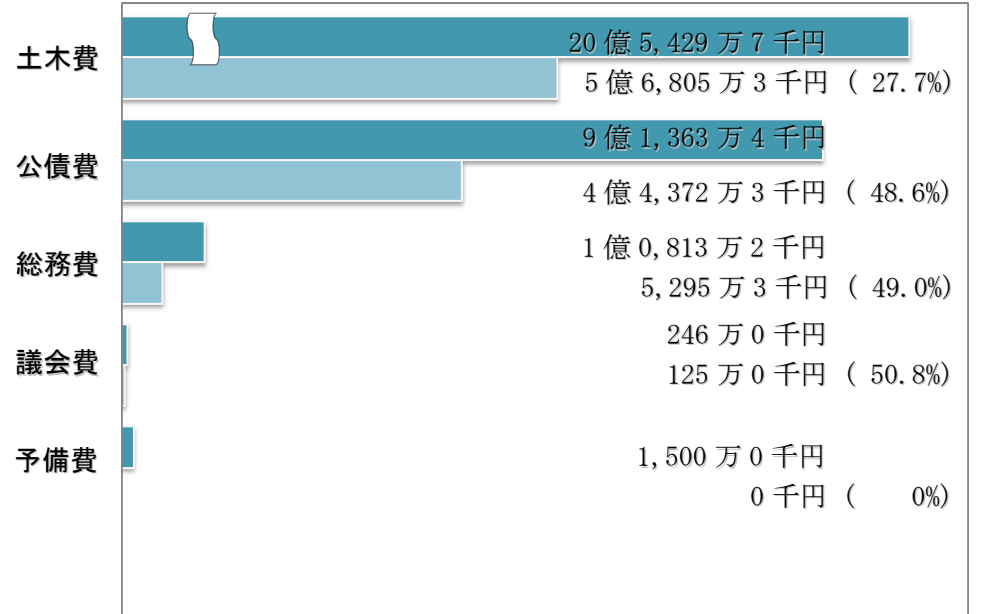
上段：予算現額
下段：収入済額（収入率）



歳入

歳出

上段：予算現額
下段：支出済額（執行率）



問い合わせ：君津富津広域下水道組合 総務課 ☎0439-56-1255

